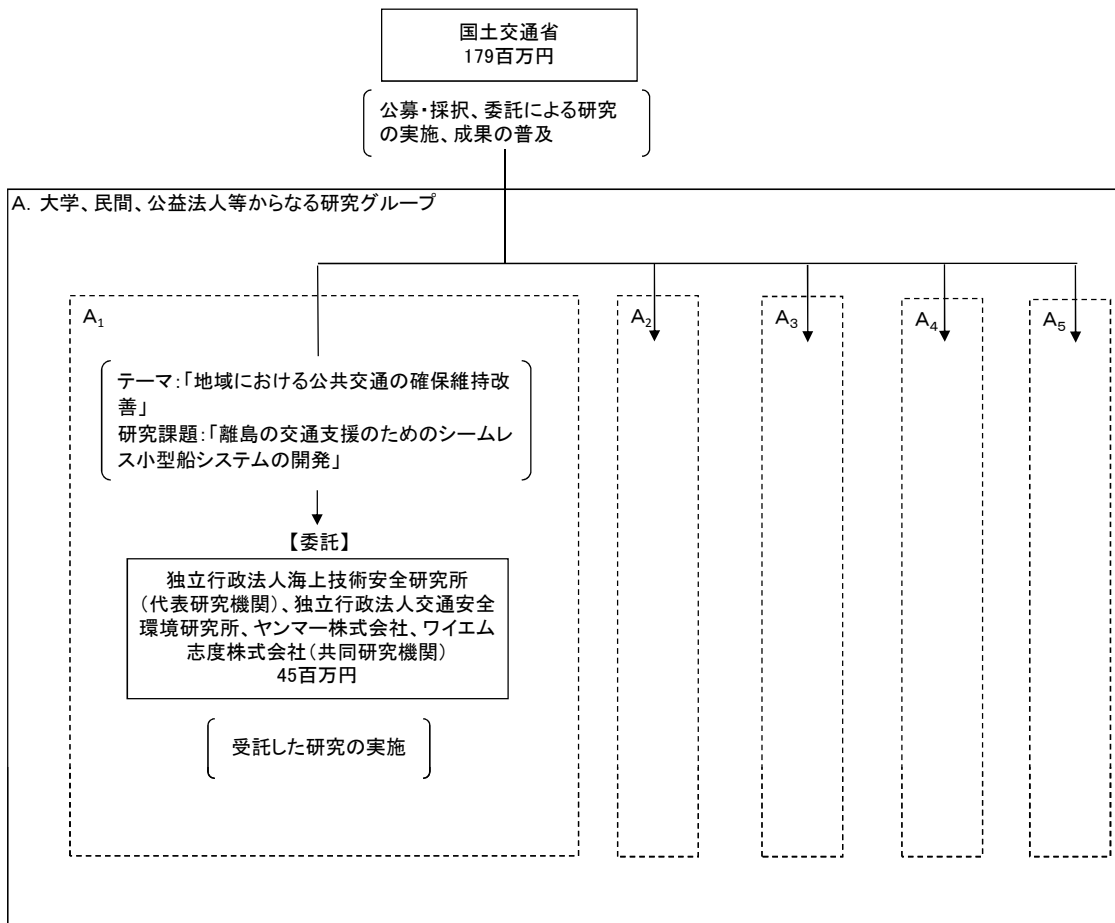


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	交通運輸技術開発推進制度		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	技術政策課		課長 吉田 正彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	11 ICTの利活用及び技術研究開発の推進 41 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定) 社会資本整備重点計画(平成24年8月閣議決定) 国土交通省技術基本計画(平成24年12月策定) 日本再興戦略(平成25年6月閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略(平成25年6月閣議決定)等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、社会資本整備重点計画(平成24年8月閣議決定)等において掲げられている国土交通省の交通運輸分野に係る政策課題の克服にあたっては、現行の技術では達成が困難なもの、あるいは、時間を要するものが多いことから、広く産学官の知見を結集して政策課題の解決に資する研究開発を重点的に実施することにより、技術開発の観点から国土交通省の政策を推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通運輸分野における真に必要な基礎的研究を国において実施するため、国土交通省の交通運輸分野に係る政策課題の解決に資する技術開発を重点的に実施する。 ・技術開発成果が、著しく変化する社会的・経済的ニーズに適時・適確に対応し、国土交通省の政策課題の解決の確実な達成につながるよう、毎年、有識者で構成される交通運輸技術開発推進委員会により政策課題の解決に資する研究開発テーマを選定する。 ・選定した研究開発テーマごとに研究実施主体を公募し、交通運輸技術開発推進委員会による事前評価を実施したうえで、実現可能性が見込める主体の研究内容を採択し、委託を行う。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算			179	179		
		補正予算						
		繰越し等						
	計				179	179		
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	当該年度に事後評価を実施した課題のうち、年度当初に設定した目標を達成した技術研究開発課題の割合		成果実績	%	-	-	-	80
			達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	年度ごとの採択課題数		活動実績(当初見込み)	件	-	-	-	-
					-	-	-	(5)
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4百万円	0.3百万円	-				
	職員旅費	0.7百万円	0.8百万円					
	委員等旅費	1.1百万円	0.8百万円					
	技術研究開発調査費	2.1百万円	0.3百万円					
	技術研究開発委託費	175百万円	177百万円					
	計	179百万円	179百万円					

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	当該制度は、国土交通省の交通運輸分野に係る政策課題の解決に資する技術開発を重点的に実施するものであるため、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	国土交通省の交通運輸分野に係る政策課題の解決に資する研究開発テーマを選定するとともに、当該研究開発テーマごとに研究実施主体を公募し、外部有識者による審査を経て採択案件を決定するため、費目・用途については事業目的に合致したものに限定されるとともに、競争性についても確保されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	国土交通省の交通運輸分野に係る政策課題の解決に資する研究開発テーマを毎年度設定した上で、当該テーマごとに研究実施主体から研究課題の公募を行い、提案された課題の中から実現可能性が見込めるものを採択した上で、研究開発業務として委託するものであり、国において真に必要な技術開発を実施するものであるため、事業として妥当である。			
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
事業実施にあたっては、効果的な施策となるよう研究開発テーマの設定に配慮すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
平成25年度同様に、研究開発テーマは国土交通省の交通運輸分野に係る政策目標に資するものを選定する。選定にあたっては、研究開発成果が、著しく変化する社会的・経済的ニーズに適時・適確に対応し、国土交通省の政策目標に確実な達成につながるよう、毎年、外部有識者で構成される交通運輸技術開発推進委員会により政策目標に対応する研究開発テーマを選定する。				
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
	平成22年		平成23年	
				平成24年
				2011

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

※平成25年度新設制度であるため、上記は平成25年度実績。

※委託費による支出予定額として合計175百万円
(委託費のほか、諸謝金等による支出予定額として合計4百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 独立行政法人海上技術安全研究所、独立行政法人 交通安全環境研究所、ヤンマー株式会社、ワイエム 志度株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	2			
旅費	旅費	0			
その他経費	消耗品費、外注費	36			
間接経費	間接経費(直接経費の10%)	4			
消費税及び 地方消費税	消費税及び地方税	2			
計		44	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人海上技術安全研究所、独立行政法人交通安全環境研究所、ヤンマー株式会社、ワイエム志度株式会社	離島の交通支援のためのシームレス小型船システムの開発	45	研究課題を公募し、採択(競争的資金)	—
2	一般社団法人港湾荷役機械システム協会、独立行政法人港湾空港技術研究所、長岡技術科学大学	コンテナクレーンの耐震化技術及び維持管理技術の向上による国際競争力強化の研究開発	39	研究課題を公募し、採択(競争的資金)	—
3	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	機上の乱気流事故防止システムに対する信頼性評価の研究開発	32	研究課題を公募し、採択(競争的資金)	—
4	独立行政法人港湾空港技術研究所、独立行政法人海上技術安全研究所、一般財団法人沿岸技術研究センター	海洋鉱物資源開発における交通運輸分野の技術開発に関する研究	30	研究課題を公募し、採択(競争的資金)	—
5	独立行政法人交通安全環境研究所、神奈川工科大学	沿道騒音対策策定のためのインテリジェント化されたアコースティックイメージングシステムの実用化研究	26	研究課題を公募し、採択(競争的資金)	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—